

思い出して 思いやり算

校長 井上 雅夫

6月1日に学校が再開されてから3週間が過ぎました。

教室内でも「3密を防ごう」ということが、子どもたちにも浸透してきたような気がしますが、それが油断にならないように指導していきたいと思います。

また、毎朝校門にいと、マスク姿で、汗をかいて登校してくる子どもたちが多く見られます。梅雨の時期になりましたので、熱中症にも注意するよう、指導していきたいと思います。

表題の「思い出して 思いやり算」とは、昨年度までの「福祉の思いやり」が、考えた言葉です。新型コロナウイルス対応の今だからこそ

+ (た す) たすけ合うと、大きなちからに

- (ひ く) ひきうけると、喜びがうまれる

× (かける) 声をかけると、1つになれる

÷ (わ る) いたわると、笑顔が返ってくる

子どもたち一人一人がこの4つを思い出して、楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。

●ご協力ありがとうございます！

先日、マチコミでもお知らせしたところですが、校舎内への車の乗り入れ中止にご協力いただき、ありがとうございます。ご不便をおかけしているご家庭もあると思いますが、新型コロナウイルス感染症対策を推進し、大池っ子が安全、安心に生活していくために、今後ご協力をお願いいたします。

また、近隣の施設等への無断駐車禁止につきましてもご理解いただきありがとうございます。近隣のコンビニや老人ホームの方々には、今後も児童の見守りや校外学習の折にお世話になりますので、ご迷惑をおかけしないよう引き続きご協力をお願いいたします。

なお、事情があってもどうしても校内に車を乗り入れる必要が生じた場合には、遠慮なく担任までご相談ください。



●1年生も、「いただきます！！」

6月10日(水)から、1年生の給食が始まりました。例年とは違った意味での緊張感もある中でしたが、落ち着いて配膳し、食べることができました。



●「学校の新しい生活様式」とは？

運動場で体育をする子どもたち、校舎内に響く笑い声、学校におけるごく当たり前の日常の風景です。私たちは、新型コロナウイルス感染症予防のための休校により、この日常が当たり前でなくなり得ることを思い知らされました。今後は、例えば感染が蔓延し、リスクが高まった場合でも、感染を予防しつつ教育活動を実施できるように備えておくことが必要となります。

学校では現在、子どもたちに「学校の新しい生活様式(※)」を身につけさせようとしています。それにより、感染症の蔓延を防ぎ、自分の身を守ることはもちろん、友だちの安全や学校の教育活動を守ることもつながります。

今後は、この生活様式を、『感染リスク抑制に効果的か』『徹底することができるか』『継続することができるか』という視点で見直しながら、「大池小の新しい生活様式」を確立し身につけさせていきたいと考えています。

※令和2年5月に文部科学省から『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』が出されました。(下記アドレス参照)学校では現在、これをもとにして教育活動を行っています。

https://www.mext.go.jp/content/20200522_mxt_kouhou02_mext_00029_01.pdf

●大池小職員を紹介します！

「日の出が丘」5月号で紹介しきれなかった職員を紹介します。



藤田恭子先生
4,6年の音楽、3,5年の算数を担当します。



今村敬子先生
4年の理科、図工、国語、5年の家庭科を担当します。

小田 篤美 SSW
スクール・ソーシャル・ワーカーとして、福祉の面から子どもたちを支えます。



●熱中症に備えて…

熱中症対策として気をつけてあげてください。

登下校時の帽子



水筒

汗ふきタオル

